

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月21日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月21日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【高台原子炉注水系の3号機給水系注水ライン流量計の不具合について】 高台原子炉注水系から3号機原子炉へ注水していないにもかかわらず、3号機給水系の注水ライン流量計の指示値が「0」を示していないことを当直員が確認。 今後、当該計器を点検予定。 当該計器は、高台原子炉注水系からの注水時に使用する計器であること。また、高台原子炉注水系からの注水時には、上流側の別の流量計で監視ができるため、監視機能に影響はなし。</p>	GⅢ	10月19日
2	<p>【高台原子炉注水系の2号機給水系注水ライン流量計の不具合について】 高台原子炉注水系から2号機原子炉へ注水していないにもかかわらず、2号機給水系の注水ライン流量計の指示値が時折、上昇したり、「0」に戻ったりしていることを当直員が確認。 今後、当該計器を点検予定。 当該計器は、高台原子炉注水系からの注水時に使用する計器であること。また、高台原子炉注水系からの注水時には、上流側の別の流量計で監視ができるため、監視機能に影響はなし。</p>	GⅢ	10月19日
3	<p>【3号機燃料取扱機の作動流体漏えいについて】 3号機使用済燃料プール内において、小ガレキ撤去治具を把持する際、燃料取扱機のマニピュレータ右手爪の開きが通常よりも小さいことを当社社員が確認。 マニピュレータを空中に引き上げ、外観および動作を確認した結果、駆動用水圧ホースに亀裂があり、当該爪の開閉時に亀裂部より作動流体(水グリコール)が漏えいしていることを確認。 今後、詳細調査を行い、対応策を検討予定。 マニピュレータはガレキ撤去作業に用いるものであり、燃料取り出し作業の工程に影響はなし。</p>	GⅢ	10月19日